

「個人の遺伝情報に応じた医療の実現プロジェクト」
E L S I委員会（第5回）議事録

1. 日時 平成17年1月18日（火）
2. 場所 東京大学医科学研究所1号館3階プロジェクト第2会議室
3. 出席者
（委員） 丸山委員長、阿部委員、掛江委員、栗山委員、田村委員、菱山委員、森崎委員
（事務局） 文部科学省 佐伯ライフサイエンス課長、奥村先端医科学研究企画官 他
プロジェクト事務局

【丸山委員長】 では、そろそろ始めさせていただきたいと思います。

少し遅いのですが、明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

きょうもまたお忙しいところをお集まりいただきましてありがとうございます。本日は、上村委員、宮田委員、武藤委員がご欠席、掛江委員が少しおくれて出席ということでございます。

では、まず配付資料の確認を事務局からお願いできればと思います。

【事務局】 配付資料の確認をさせていただきます。（配布資料の確認）

【丸山委員長】 では、続きまして、まず最初の議題に入りまして、議事録の確認をお願いしたいと思います。事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】 「第4回E L S I委員会議事録（案）」につきましては、修正などがありましたら、2週間以内、2月8日までに事務局のほうへご連絡いただけますようお願いいたします。

【丸山委員長】 ということで、2月8日までに確認ということですね。続きまして、議事の2に行ってください。

では、「E L S I委員会にて実施する調査研究について（案）」ということで、前回の委員会で検討いただきました。きょうの資料は、それらの議論を反映しましたものを配っていただいております。事務局から説明をお願いいたします。

【事務局（奥村企画官）】 簡単に説明いたします。前回の委員会におきましてこの資料2でございます「E L S I委員会における調査研究について（案）」をご検討いただきましたが、ご指摘に沿って修正いたしております。今回修正版を用意しました。修正箇所は、簡単に言いますと第1段落の漢字の修正、「および」が「及び」に、また第2段落の1行目をご指摘の文言のとおり修正、それから第3段落の「推進委員会の了解」を削除しております。

以上です。

【丸山委員長】 よろしゅうございますか。第1パラグラフのところは、文の整理をしたということなのですが、第2パラグラフのところ、「本調査研究は、最終的にE L S I委員会の報告書としてとりまとめることとし、プロジェクトに限らず、遺伝子に関する研究及び医療等について広く情報発信・提案することを目的とする。また、本調査研究の結果、プロジェクトのより適正な実施に資する事項が挙げられた場合は、プロジェクトへ助言するものである」ということですね。

第3パラグラフは、前回、大体意見はまとまったところでここに載せていただいているとおりにかと思いますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

【事務局】 文書の日付につきましては、本日の日付にさせていただきます。

【丸山委員長】 これで「（案）」をとってよろしゅうございますか。

では、そのように扱わせていただきたいと思います。

それから、今後開催する推進委員会へE L S I委員会にて調査研究を実施すること、また、その内容、協力依頼については推進委員会に対して説明をする予定にしております。

続きまして、議題の3番目は「訪問調査報告について」です。訪問調査がこの前の第4回E L S I委員会の後、1月24日に岩手医大附属病院で実施されております。それにつきまして各委員から報告をいただければと思います。訪問された委員のうち、きょう、武藤委員が欠席ということで、森崎委員と栗山委員から10分間ほどをめぐり、訪問調査で感じられたこと、気づかれたところ、それから、報告のフォーマットとしてチェックリストを使っていたのですが、それについての提案などありましたらお願いできればと思います。

「訪問調査結果について各委員より報告・意見交換」

【丸山委員長】 では、次回の訪問調査につきまして、事務局より連絡をお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

【プロジェクト事務局】 12月に丸山先生からご希望をいただいておりますので、今、調整を行っております。極力ご希望に沿えるような形で用意いたしますが、最終的な決定というものは、今、調整中ですので、この場では少しお答えできないような状況ではありますが、申しわけございません。決まり次第、またご連絡いたしますので、1月の末ぐらいに1機関ぐらい回ればというような形では考えてはおりますが、もしかすると2月に入ってしまうかもしれません。その後、2月、3月も引き続きということでお伺いしておりますので、3月までの間にご希望されています機関のほうをということで今調整している最中でありまして。

【丸山委員長】 理化学研究所なんですけれども、横浜研究所もこのプロジェクトに参加していると考えてよろしかったのですか。

【プロジェクト事務局】 こちらの医科学研究所の敷地に理化学研究所の設備が設置されているところです。

【丸山委員長】 そこは前回拝見しましたね。

【プロジェクト事務局】 そうですね、前回ごらんいただいたときは、施設見学と一緒に見ていただきましたので、例えばどのように試料管理をしているかといったところは詳しくはごらんになっていないのかもしれませんが。そのあたり、さらに詳しくというお話であるのか、それとも、この間ご覧頂きましたままで宜しいのか、というところはE L S I 委員会のほうでご判断をしていただければと考えております。

【事務局】 また、多分使われているチェックリストは基本的にMCさんのいらっしゃる病院で実施される調査のための調査用紙だったかと思います。理化学研究所に訪問される際には、その調査用紙はおそらく合わないのでは……。

【丸山委員長】 今、病院への調査では、インフォームド・コンセントに焦点を定めた調査用紙を使っておりますね。理研のほうは試料の扱いなどが中心になると思います。私の認識は、先日見学した医科学研究所内に設置された理化学研究所のラボ以外に横浜研究所の方でも解析が進められているのかなというイメージでございました。

【事務局】 前回見学いただきました医科学研究所の敷地内に設置されている理化学研究所の中にある設備を使用して解析をしています。

【丸山委員長】 それであれば、前回見せていただき、かなり説明していただきましたし、私も質問をして、これが何かというのを認識することができましたので。

新たに加わった医療機関などがあるのかなと思うところなのですが。

【プロジェクト事務局】 秋ごろから新規の機関も検討しております、実際、この1月から開始する機関が3機関ございます。滋賀医科大学、国立の大阪医療センター、病院の規模としては若干小さくはなるのですが、結核予防会の複十字病院の3機関です。

また、もう1機関、今、準備を進めている機関もございますが、こちらは準備が整い次第、またご報告をいたします。

【丸山委員長】 こういうところも始められて、少し例えば、ちょっと口幅ったいのですけれども、我々に相談を求められてちょっとやり取りをしたというようなところもこれまでありましたので、訪問調査と言いながらやり取りして先方にも役に立つようなことがあるかもしれないので、候補として考えてもいれるのかなというふうに思いますが、とりあえず既に進めていただいているところあたりから調整いただければと思います。

それから、以前、武藤委員が、僻地での基幹病院について患者の感触なり、その説明のあり方がどうなるかというようなことも関心をお持ちでしたので、こういうところへ行くことは意義があるのではないかというご意見がありましたら挙げていただければありがたいと思います。

【田村委員】 プロジェクトの関連の公開シンポジウムで2月に大阪で1回ありますし、3月に沖縄であるのですが、ついぞと言っては何ですけれども、そちらの地域の訪問調査がもし可能であれば、私もそこはこちらの仕事にあけてあるので、行ってみたいかなと思うんですけども、そういうことは可能でございますか。

【丸山委員長】 どうでしょうね。シンポジウムは2月の……。

【田村委員】 14日に大阪です。

【事務局(市原)】 相手の機関の都合の調整が必要なのですが……。

【丸山委員長】 ちょっと厳しいかな。

【事務局(市原)】 ちょっと急かと……。

【田村委員】 でも、3月の末から沖縄。

【丸山委員長】 ついでに。というのは、沖縄などはそんなに簡単に行けないので、あるいは一緒にというのがあってもいいかもしれないですね。だけれども、時期的に何か翌年度の作業とまたがるようなところもありますけれども。

【田村委員】 あと、ごめんなさい、シンポジウムとは関係ないのですけれども、今までの訪問調査は、どうしても大学病院とか、第三次の高度専門病院が中心になっているので、もう少し一次、二次レベルの、病院の規模ということもあるのかもしれないのですけれども、多分、機関によって全然雰囲気が違うと思うので、見てみたいという感じがします。

【丸山委員長】 今も挙がっているのも公的な大病院、公的な病院が多いですので、民間の機関などいろいろなところを拝見できればと思っております。

議事は以上です。では、委員会を終えさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。

了